



2022年10月11日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマザワ  
代表者名 代表取締役社長 古山 利昭  
(コード番号 9993 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理本部長 工藤 和久  
(TEL. 023-631-2211)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績を踏まえ、2022年4月12日に公表いたしました2023年2月期(2022年3月1日～2023年2月28日)の第2四半期累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年3月1日～2022年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 53,000	百万円 500	百万円 600	百万円 300	円 銭 27.51
今回修正予想 (B)	50,309	683	726	433	39.78
増減額 (B-A)	△2,691	183	126	133	
増減率 (%)	△5.1	36.6	21.0	44.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年2月期第2四半期)	55,227	579	602	367	33.71

※2023年2月期第2四半期(累計)連結業績予想の数値は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日 企業会計基準委員会)等を適用した金額となっております。

#### 2. 修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績予想の修正は、スーパーマーケット事業の業績によるものであります。

2023年2月期第2四半期(累計)連結業績予想における売上高が予想を下回る見込みとなりました。新型コロナウイルス感染症は収束により、国内景気が段階的に回復していくものと想定しておりましたが、足元の回復状況は想定よりも遅れております。また、2022年6月以降は第7波の急速な拡大により人流減少が続き、最需要期である8月の来店客数が当初計画に比べて減少したことが要因であります。

利益面におきましては、PB商品である「くらしモア」の販売を強化する一方、バイヤーこだわりの商品、企画をテーマに沿った売場づくりで全店をあげて徹底し販売することで利益の改善に努めました。また、業務の効率化をはじめとするコスト削減活動の推進により、販売費及び一般管理費のコスト削減を行いました。その結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに当初予想を上回る見通しとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

なお、2023年2月期の通期の連結業績予想につきましては、仕入価格、物流コスト、エネルギーコストなどの増加影響等を考慮し、2022年4月12日に公表いたしました予想数値から変更はございません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上